

事業番号	07 04 10	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	ものづくり現場環境対応支援事業費			担当課	部局	産業労働部	
総合5か年計画	プロジェクト	1-1-1 次世代産業創出		課・局・室	ものづくり振興課		
	施策の総合的展開	1-1 信州をけん引するものづくり産業の振興 1 成長産業の創出		E-mail	mono@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-1 活力と循環の信州経済の創出		実施期間	H27 ~		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 (ア) 県内企業の国内外市場、成長期待分野への展開支援					

1 事業の概要

目指す姿	ものづくり現場のエネルギー使用状況を「見える化」し、以下の目的を達成する。 (1) 県内ものづくり現場における効果の高い省エネルギー化の実現 (2) 企業のエネルギーコスト削減による収益性向上 (3) 工業技術総合センターの現場指導レベルの向上																								
現状 (予算編成時)	ものづくりの現場では、エアコンプレッサの電力使用量は工場全体の約30%と言われ、使用量の削減が喫緊の課題となっている。																								
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 県工業技術総合センターが保有している圧縮空気稼働状況測定装置を利用して測定を行う事業である。																							
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)																								
	専門家チーム(外部指導者及び県工業技術総合センター職員)による、ものづくり現場におけるエアコンプレッサの使用状況調査・改善件数 3件																								
	② 事業内容 (単位:千円)																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">実施方法</th> <th rowspan="2">H28事業実績</th> <th colspan="2">H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <th>(当初)</th> <th>(決算)</th> <th>(当初)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現場調査改善事業</td> <td>直接</td> <td>エアコンプレッサの使用状況を調査し、エネルギーコスト削減を提案・実行することで成功モデルを創出する。</td> <td>358</td> <td>339</td> <td>358</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>358</td> <td>339</td> <td>358</td> </tr> </tbody> </table>					項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29	(当初)	(決算)	(当初)	現場調査改善事業	直接	エアコンプレッサの使用状況を調査し、エネルギーコスト削減を提案・実行することで成功モデルを創出する。	358	339	358	合計			358	339
項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29																				
			(当初)	(決算)	(当初)																				
現場調査改善事業	直接	エアコンプレッサの使用状況を調査し、エネルギーコスト削減を提案・実行することで成功モデルを創出する。	358	339	358																				
合計			358	339	358																				
事業コスト	区	分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況																			
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標													
		当初予算	358	358	358				目標	成果	達成状況														
		補正予算							現場改善件数(件)	3	3		3	3	達成	-									
		合計(A)	358	358	358																				
	Aの財源	一般財源																							
		県債																							
		国庫支出金																							
		その他	358	358	358																				
	ト	決算額(B)	263	339																					
概算人件費	職員数(人)	0.90	0.90	0.90																					
	概算人件費(C)	7,448	7,123	7,123																					
	概算事業費(B(A)+C)	7,711	7,462	7,481																					
目標に対する成果の状況	目標どおり3社(㈱駒ヶ根電化、㈱みすずコーポレーション、太陽工業㈱)の成功モデルを創出した。 最も改善効果の高い企業では、コンプレッサの稼働状況を調整する等で、年間400万円以上の経費削減につながる見込みを得た。																								

2 今後の事業の方向性

今後の事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 引き続き、ものづくり現場のエネルギーコストの削減を提案・実行することで、省エネ化の進んだものづくり現場の実現と企業の収益向上につなげていく。
--------------------	---